

研究・調査報告書

報告書番号	担当
494	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
Alcoholic beverages and prostate cancer in a prospective US cohort study 飲酒と前立腺癌の関連に関する米国での前向きコホート研究。	
執筆者	
Watters JL, Park Y, Hollenbeck A, Schatzkin A, Albanes D.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Am J Epidemiol. 2010 Oct 1;172(7):773-80.	
キーワード	
飲酒、非進行性前立腺癌、進行性前立腺癌、致死性前立腺癌、コホート研究	
要 旨	
<p>目的： 多数の先行研究にも拘わらず飲酒と前立腺癌の関連は不明である。本研究はコホート研究を行ってこの点を解明することにあつた。</p> <p>方法： 1995～1996年に50～71歳の米国男性294,707人を含む前向きコホート研究で飲酒と前立腺癌リスクの関連を検討した。Cox比例ハザード解析を用いて年齢、人種、BMI、家族歴に加えて前立腺特異抗原(PSA)と直腸触診検査所見を加えて調整因子として検討した。</p> <p>結果： 2003年までの間に15,327例の非進行癌と1,900例の進行癌が見つかり、2005年までの間に514人の死亡例があつた。非飲酒者と比べて毎日6飲酒単位(清酒3合相当)以上の飲酒があると非進行癌のリスクが25%高く(ハザード比(HR)=1.25, 95%信頼区間:1.13-1.37)、3～6単位の飲酒で19%高く、3単位以下の飲酒で6%高かつた。飲酒と非進行性前立腺癌リスクの関連は年齢、家族歴の有無、喫煙の有無、BMI、自己申告のPSAおよび直腸触診検査所見(>60%に入手可能であつた)には影響を受けなかつた。飲酒と進行前立腺癌との間に関連は認められなかつたし、大量飲酒者においては飲酒と致死性前立腺癌との間に負の相関があつた。</p> <p>結論： 多量飲酒と非進行性前立腺癌の間に弱い関連を認めた。</p>	